

### 障害のある人もない人も一緒に参加できるパラスポーツ交流会を開催します！ ～淑徳大学におけるブラインドサッカー体験による交流会の実施～

千葉市では、淑徳大学と連携・協力し、障害者のスポーツへの参加促進を図るとともに、障害の有無に関わらず共にスポーツを楽しむ互いの理解を深める取組みとして、パラスポーツ交流会を行いますので、お知らせします。

#### 1 概要、経緯

千葉市では、障害のある人もない人も共にスポーツに親しむことで、互いに理解が深め、誰もが社会に参加・貢献できる共生社会の実現を目指している。

今回、千葉市は淑徳大学及び松戸ウォーリアーズと連携し、淑徳大学で行われる「淑徳大学 龍澤祭(りゅうたくさい)」の一部会場内において、パラスポーツ(ブラインドサッカー)を通じて誰もが参加できる交流会を開催する。

また、大学を中心とした実行委員会を設立し、交流会の企画・運営をすることで、大学生のパラリンピックへの関心を高めるとともに障害や障害者に対する理解と認識を深めることも目指す。

#### 2 日時

10月28日(日) 13:00～15:00

#### 3 場所

淑徳大学2号館アリーナ(中央区大巖寺町200)

#### 4 内容

ブラインドサッカー体験による交流



当日参加する松戸ウォーリアーズ・佐々木選手(右)

#### 5 参加者

大学生、松戸ウォーリアーズ選手、当日参加者等(※参加無料。予約不要)

※ジェフユナイテッド千葉・市原の深井正樹ふかいまさきコーチも参加

#### 6 主催

淑徳大学パラスポーツ交流会実行委員会  
(淑徳大学、千葉市、松戸ウォーリアーズ)

#### <参考>

##### 1 「ブラインドサッカー」とは

視覚障害選手による5人制のサッカー。全盲選手が参加する種目では、フィールドプレーヤーは障害の程度による差が出ないように、アイマスクの着用が義務付けられている。ゴールキーパーは晴眼者や弱視者が担当する。

ボールは、フットサルボールと同じ大きさで、転がると音が出る特別なボールを使用する。その音で選手たちがボールの位置等を把握し、フィールドプレーヤーは危険な衝突を避けるためボールを持った相手に向かって行く時に、「ボイ」と声を出さなければいけない。選手同士の声の掛け合いを含めたコミュニケーションが勝敗を左右し、観客は静かに観ることが求められる。

##### 2 松戸ウォーリアーズについて

2007年に発足したブラインドサッカーチームで、千葉県松戸市を中心に活動している。元日本代表選手のほか、一般住民等からも広く選手を募集しており、幅広い選手が在籍している。